



# 企業訪問レポート

## 玩具を通じて、豊かで健やかな生活を提供する

株式会社池田工業社 奈良県宇陀市榛原区

少子化の影響を受け、玩具市場の規模は縮小傾向にある。また、消費者嗜好の変化・多様化とも相俟って、業界全体としては厳しい状況におかれている。

そのようななか、株式会社池田工業社は、1,000点を超える豊富な製品アイテムという強みを生かし、子供と大人が一緒になって遊べる玩具や教育・健康に関連する玩具を通じて、豊かで健やかな生活を人々に提供している。

### 会社概要

会社名：株式会社池田工業社  
所在地：奈良県宇陀市榛原区萩原 2460  
電話：0745-82-0070 (代)  
FAX：0745-82-7800  
設立：昭和49年10月  
代表者：代表取締役 池田 宗義  
資本金：1,000万円  
従業員：29名  
事業：小物玩具・スポーツ用品等の製造販売及びそれに伴う輸出入事業  
URL：<http://www.yamaine-ikeda.co.jp/>

### 農機具から玩具へ

株式会社池田工業社の創業は明治35年と古く、先々代の池田龍太郎氏が農機具を製造販売したのがルーツ。その後、金網製蜜かご、金網製虫かごの製造販売を通じて玩具業界へと進出した。昭和49年には先代の池田隆三氏が株式会社池田工業社を設立。そして、昭和60年、現社長の池田宗義氏が就任し、キャラクターライセンス製品の製造や物流センターの設置・拡充などを手がける。さらに、小物玩具を中心に取扱製品を着実に増やし、業容を拡大させていった。現在の取扱製品のアイテム数は1,000点を超え、「池田工業社に相談すると、どんな要望にも応えてくれる」とユーザーからの評判も上々であるという。

### 業界を取り巻く環境と同社の取り組み

少子化に加え、消費者嗜好の変化・多様化などから玩具業界を取り巻く環境は厳しく、決して安閑としてはられない。さらに、虫採りや川遊びなど「自然と親しむタイプ」の遊びが、近い将来、消えてしまうのではとの危機感もある。ただ、人の成長過程において、こういった遊びは必要であり、絶対なくしてはいけないと同社では考えている。一方、少子化であるがゆえ、親や祖父母が子供や孫にかけるひとりあたりの資金は増大傾向にあり、これをビジネスチャンスと捉えることもできる。

そこで同社では、単に子供だけで遊ぶ玩具や屋内で遊ぶ玩具だけではなく、「大人と子供が一緒に屋外で遊ぶ」というコンセプトや「遊ぶことで教養が身に付く」という付加価値の付いた製品の開発に注力してきた。その結果、「昆虫採集・飼育用品」「水遊び玩具」「スポーツ玩具」「正月玩具」の4シリーズで製品を企画し、他社が真似出来ない



同社外観



吐山物流センター

いほどのアイテム数を誇る製品群を作り上げた。

4シリーズの製品内容を簡単に説明すると、「昆虫採集・飼育用品」は虫網、虫かごが中心で、ピーク時には売上の半分以上を占め、同社の主力製品であったが、時代の流れとともに売上はやや減少傾向にある。「水遊び玩具」はシャボン玉、砂遊びセット、水鉄砲など、「スポーツ玩具」はバドミントン、縄跳び、ボールなどで、特にフィットネスに利用できる「健康」に関連した製品の売れ行きが好調、「正月玩具」は羽子板、凧、コマなどである。

同社の販売エリアは日本全国に及び、小売店や問屋の業態にこだわる事なく子供用品を扱う企業への提案を行っている。同社が得意とする店舗形態は、地元のスーパーやドラッグストアなどで、「人が毎日買い物にいく売場の隣に並んでいるような身近な製品」(和佐野統括部長)という位置づけだ。また、社員の平均年齢が若いのも魅力のひとつで、若い人の発想で新しい企画がどんどんと採用され、新製品が生まれていく。なかには社長自ら企画した製品もあり、同社の新製品は年間40アイテム以上にもものぼる。

さらに、同社は商社機能を兼ね備えており、問屋に依存せず直接小売店へ販売することができるのも大きな強みとなっている。

#### 昆虫採集・飼育用品

…命と自然の大切さを学んで欲しい。 …遊びの中で不思議を見つけて欲しい。



#### 水遊び玩具



#### スポーツ玩具

…家族や仲間と元気に遊んで欲しい。 …日本伝統玩具の楽しさを後世に伝えたい。



#### 正月玩具



4シリーズの製品群

## 注目製品の紹介と今後の展開

数多い同社の製品の中から、最近注目の製品を紹介しよう。

### 「変身!きせかえコマ」

社長の企画から生まれた製品で、コマの回転面に施した色や柄が、コマを回すことで変化する。色の三原色(赤・青・黄)や色の三属性(色相・明度・彩度)などによる色の不思議や、コマにあたる光の波長、コマの回転速度の変化などで起こる目の錯覚により、色や形の変化などが体験できる知育玩具である。



### 「メディシンボール」

表面が柔らかく、中に砂が入っているため、屋内で安全にエクササイズが楽しめる。鉄アレイと違い誤って足の上に落としても安心で、女性のエクササイズや筋力トレーニング、リハビリ用として好評を得ている。また、天理大学教授の監修を受けて、メディシンボールを使って行う「メドエクササイズ」という体操も考案。



池田宗義社長は、「誰でも安心して使えるものや子供と大人と一緒に楽しめる玩具をこれからも作っていく。さらに、健康の増進、子供の発育に一役買う玩具の開発にも積極的に取り組んでいきたい」と、これからの方針を熱く語っている。

(丸尾尚史、島田清彦)